



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局
電話：03 (3225) 5600
FAX：03 (3354) 0046
URL：<https://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

↑ 2022(令和4)年度 第1回全難聴&全要研定期協議会

8月14日(日)13:00~16:00 オンラインで全要研との2022年度第1回定期協議が行われました。当初は東京で対面で行う予定でしたが、感染者拡大の状況から急きょオンラインに変更になりました。佐野事務局長が都合で欠席となり、宿谷副理事長が出席しました。

参加者 全難聴：新谷理事長、宿谷副理事長、宇田川要約筆記部長
全要研：山岡理事長、松井事務局長、長尾理事

議題1. オンラインでの情報保障について

外部団体との会議で要約筆記以外の方法が使われる状況があることを受けて、両団体で検討会を立ち上げることとなった。

議題2. 国政レベルの動きに対応した両団体の行動について

議題3. 両団体の調査・研究事業での連携について

全要研が実施しているWAM助成事業「災害時における中途失聴・難聴者への通訳&支援体制構築事業」は、3グループが2週間に1回の会議を行いながら進めている。

全難聴に難聴者の困りごとのシミュレーションについて、秋以降に協力をお願いする予定。

議題4. 両団体の年次大会・集まりでの連携について

全難聴福祉大会(大分)の情報保障面で全要研が協力する。

議題5. 全国統一要約筆記者認定試験の未実施事業体に対する呼びかけについて

両団体で厚労省に要望を出す方向で進める。

↑ 「障害者権利条約 初の日本審査を終えて」JD 藤井代表談話

2022年8月26日 認定NPO法人日本障害者協議会代表 藤井克徳

歴史的な会議や企画をふり返る時、その開催の前と後とで、期待やとらえ方が大きくズレることがある。今回の国連ジュネーブ本部での障害者権利委員による日本政府報告書に関する審査(以下、対日審査)はまさにその典型となった。JDFや日弁連を中心とするNGO側は、パラレルレポート(政府報告書に対するNGO独自の見解)作成を中心に、数年越しで対日審査に備えてきた。そこに込めた思いはただ一つ。「人権侵害に当たるいくつもの深刻な実態を好転させたい」に尽きる。

去る8月22日、23日の両日にかかれた対日審査は惨憺たるものだった。審査が始まった直後から期待感は一気に萎みだした。持ち直すことは一度もなかった。詰めかけた日本のNGO100人余の日本政府代表団への印象は、啞然、そして怒りの入り混じった衝撃以外のなにものでもなかった。ヤジも飛んだ。

日本政府（関連省庁から 25 人以上が出席）の見解や姿勢についての感想を簡潔に述べたい。一点目は、障害者をめぐる実態に誠実に向き合っていないことである。例えば、権利委員からは隔離状態が続く精神科病院の実体を問い質しているのに、政府コントロール下にある検討会報告書の一文を読み上げ、政策の方向は順調だと言わんばかりの答弁がくり返された。あげくの果ては、事実とは異なる言い回しや数値が登場する始末。

二点目は、障害者権利条約の全体像と本質を理解していないことである。権利委員から、権利条約の魂とも言える「他の者との平等を基礎として」に沿っての、障害の社会モデル・人権モデルや複合差別・交差差別、インクルーシブ政策への対応が求められたが、まともに回答できなかった。はぐらかしというよりは、それらの本当の意味を知らないことからくる急場しのぎに思えた。

三点目は、日本の障害者政策を改革しようとする気迫が感じられなかったことである。審査の形式は、権利委員と政府による「建設的対話」というものなのだが、そこにくり広げられたのは、「うまくいっている」もしくは言い訳の連発だった。「建設的」でもなければ、「対話」でもなかった。国際障害者年（1981 年）を改革の追い風にしようとした当時の障害関連官僚とはまるで違う。

以上述べた日本政府へのネガティブな感想だけが今回の対日審査のすべてかと言うと、決してそうではない。ポジティブな側面がいくつもあった。まずあげたいのは、障害者権利委員（18 人）の真摯で懸命な働きだった。パラレルレポートを丹念に読み込んでくれた。的を射た質問が連なり、ねばり強い食い下がりもみられた。明らかに日本政府の不誠実さを見抜いていたのである。極めつけは、ヨナス・ラスカスさんと並んで日本審査担当のキム・ミヨンさんの権利委員会を代表しての最後のコメントだった。途中から涙声に変わる。「こんなにも真剣なパラレルレポート、そして日本からの大勢の傍聴者の前で、日本政府のみなさんは恥ずかしくないのですか」、私たち日本の傍聴団にはそう聴こえた。おそらくは、傍聴者のすべてが涙したように思う。政府報告に落胆していた中で、「傍聴に来てよかった」と思わせてくれた瞬間だった。拍手は鳴りやまなかった。

ポジティブな側面のもう一つは、まもなく出される権利委員会による総括所見（日本政府への勧告）にますます期待が高まることである。日本政府の不誠実な姿勢の分、権利委員のエネルギーは総括所見の作成に向かうに違いない。期待していいように思う。

日本政府の対応への評価は、文字通りの「ジュネーブショック」だった。しかし、それに向かった日本の NGO のまとまりと努力は、未来に向けて掛け替えのないものを残してくれた。そして、障害者権利委員会及び一人ひとりの委員の国際正義を貫こうとする姿勢に、改めて称賛の拍手を送りたい。

やはり障害者権利条約はすばらしい。同時に、「権利条約に恥をかかせてはならない」の意を強くした対日審査であった。最後に、関心を持っていただいた多くの市民社会にお礼を述べるとともに、間もなく出される総括所見を最大限に生かすことを表明する。

📌 全難聴女性部便り 48 号をホームページにアップしました。

全難聴女性部より「全難聴女性部だより第 48 号」発行のご案内がありましたので、お知らせいたします。また、全難聴ホームページ「トピックス」及び「女性部」のページにも「全難聴女性部だより第 48 号」を掲載いたしました。

全難聴ホームページ「トピックス」<https://www.zennancho.or.jp/4328/>

全難聴ホームページ「女性部」のページ <https://www.zennancho.or.jp/special/ladies/>
どうぞよろしくお願いいたします。

↑ 一般社団法人 要約筆記者認定協会 臨時社員総会の開催

8月8日オンラインで開催し事務局長佐野昇が出席しました。議案は受験料改定について、短期借入金返済計画について、2022年度予算案の修正についての3議案を協議しました。

↑ 国連障害者権利委員会対日審査に参加

ただ今無事に成田空港に到着しました。(8月26日(金)18:23 発信メールより)
今回は日本の初回審査ということで、ブリーフィングのための活動や建設的対話の傍聴、その合間に権利委員さんへのロビーイングを精力的に行いました。

ブリーフィングでは発言の機会をいただき、私自身、大変貴重な経験となりました。

また、ブリーフィングで難聴に関する質問をいただけたことは、個別の委員さんに働きかけた成果だと思います。例え今すぐに総括所見に表れなくても、課題としておおきく存在することでしょう。

宮本さん、小谷野さんにたくさんお手伝いいただきました。瀬谷さんのご協力も大変心強かったです。みなさん、本当にありがとうございました。

全難聴の理事の皆様、事務局の皆様へよろしくお伝えくださいませ。取り急ぎ、帰国のご報告です。国際部: 南由美子、宮本忠司、小谷野依久

上記は、16日からパリを経由して参加された3名の国際部員からの報告です。なお、詳細については、福祉大会分科会で報告する予定になっています。

↑ 「令和4年度東北ブロック大会in青森いわき」の案内

「令和4年度全難聴・全要研東北ブロック大会 in 青森いわき」を開催いたします。

主催 全難聴東北ブロック 全要研東北ブロック

主管 青森県難聴者・中途失聴者協会 全要研東北ブロック青森県支部

大会期日 令和4年9月23日(金・祝)～24日(土)

会場・宿泊地 アソベの森「いわき荘」

〒036-1343 青森県弘前市大字百沢字寺沢 28-29

TEL (0172)83-2215 FAX (0172)83-2855 <http://www.iwakisou.or.jp/>

★参加申込×切 令和4年9月4日(日) ※9月11日(日)まで、現地⇄オンラインの変更ができます。

■案内・申し込みは下記のURLをクリックしてください。青難聴のHPにつながります。<https://www.normanet.ne.jp/~aonancho/top/gaiyou2/haty/59.pdf>

■参加申し込み・問い合わせ先(東北ブロック大会実行委員会事務局 渡辺)は、以下のとおりです。Webサイトによるお申し込みもできますので、ご利用いただければ幸いです。・ファックス FAX 017-739-0690 ・E-mail aonancho@hb.tp1.jp

・郵送 〒030-0852 青森県青森市大字大野字若宮 27 渡辺淑子方

◎Webサイトによるお申し込み

下記のURLをクリックしてください。申込フォームが表示されますので、必要事項をご記載の上、送信してください。

<https://docs.google.com/forms/d/1MKdw8rDKcKPDHMTWVYHI8kJFhgdlRnuVqBGzTKZeD4g/edit>

Web 申込サイト 8月9日
から利用可能です。

<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/e/vt/nanchoufukushi/>

※申込締切日：9月15日(木)まで延長

全国から多くの
皆様に
お越しいただけま
すよう、
よろしくお願
いいたします。

ひと目で分かる！
大分駅と大会会場



ただいま続々とお申込みをいただいています！
全国の仲間と3年ぶりの再開は、ぜひ「おんせん県
おおいた」で。



第26回全国中途失聴者・難聴者福祉大会
in おんせん県おおいた

[会期]
2022年10月
15、16、17日

開催速報
006

📌 理事の動き (8/1~8/31)

- 8月 1日 障害者政策委員会 (第69回) (オンライン) (宮本)
- 8月 2-3日 耳マーク部会 (オンライン) (黒田他部員)
- 8月 13日 全要研&全難聴定期協議 (オンライン) (新谷、宿谷、宇田川)
- 8月 24日 字幕付き電話リレーサービスに係るヒアリング (オンライン) (小川)
- 8月 25日 国交省 当事者目線にたった評価指標の第1回ワーキング・グループ「現地調査」(小川)

📌 9月の予定 (9/1~9/30)

- 9月 2日 8月度 JDF 幹事会 (オンライン)
- 9月 12日 情報コミュニケーション4団体連絡会
- 9月 13日 NHK 番組検討委員会
- 9月 22日 9月度 JDF 幹事会 (オンライン)